



今日は何を買おうか、食べようか



家族と一緒に誕生日

緒にお祝いをします。自宅でお祝いでいた時のように、その方を中心とした馴染みの関係が、グループホームでも継続しているようにしています。



華道指導をする赤嶺さん(右)

入居者の方は、当たり前のごとですが、それぞれに異なった人

①華道の先生 赤嶺美佐子さん

具体的な個々の取り組みによって、「グループホームコスモス」で生活される方の周辺症状に、どのような変化が見られたかを紹介させていただきます。

★事例の紹介

病気や障害などで、外出が困難な方であっても、本人が「外に出掛けたい」との主張は見られます。そうした訴えは大切に、スタッフの援助で、元気があった頃のように、外出を楽しめるようにしています。

山口さんは美容師をされていて、ご自宅で過ごされていた時には、とてもきれいな方でした。認知症の症状が現れて以降の山口さんは、抑うつ症状が見られ、自室に引きこもり、何をされることもなく、過ごされることも多くなっていました。しかし、山口さんが何も出来なくなってしまうわけではありません。元々きれい好きで、片付け物をしっかりと行っていた山口さんに、食事の後の食器の片付けをお願いする様に行っていました。最初は職員と一緒に持っていました。沈みやかな表情の多かった山口さんの表情に

②きれいな好きの山口文子さん

生を歩んできております。赤嶺さんは若い頃から華道の先生をされてきました。認知症の症状が現れて以降の赤嶺さんは、興奮しやすい様子が見られました。しかし、そうはなっても、それまで華道の先生であった赤嶺さんの全てが失われたわけではありません。ホームで生け花を行う時には、他の皆様の指導を行いながら、穏やかに華道を楽しまれる様子が見られます。



働き者の山口さんは、もう一人のスタッフです(右)

ここに書かれたこと以外にも、コスモスでは様々な活動を通じて、入居者の方の生活が、より良くなるように取り組んでまいります。認知症の症状があっても、それぞれの入居者が、その人らしく有り、人生を楽しんで行けるように援助させて頂いております。この文章を読んで、「グループホームコスモス」に興味を持たれた方がいらっしやいましたら、ぜひ一度、「グループホームコスモス」に遊びに来てみてください。最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

『穏やかに過ごすに笑顔溢れる』毎日を

グループホームコスモスの取り組み

皆様、はじめまして。私達は「グループホームコスモス」と申します。今日は皆様に、「認知症」のこと、それから私達、「グループホーム」の事をお話ししたいと思えます。

★認知症？

突然ですが質問です。皆様は「認知症」のこと、ご存知でしょうか。昨今では、テレビや新聞で、この言葉を目にするのも多いはずですが、まずは簡単に、認知症の定義について説明しましょう。

認知症は、何かしらの原因による脳の障害の為に、記憶力や判断力などの認知機能が失われる病気で、加齢に伴う「物忘れ」との違いは、日常生活に支障をきたしてしまう事にあります。

★周辺症状？

身近な人が、認知症と診断された方はいませんか。いると答え

られた方、その人は、それまでと性格や行動が変わってしまったところはありませんか。そして、認知症になってしまつては、絶対に良くならないと、考えてはいないでしょうか。

認知症は記憶力や判断力などの認知機能が失われていく病気で、実際の生活に支障をきたしていくのは、認知機能が失われていくに伴って現れる、ある「病状」の為です。この「病状」の為に、性格や行動が変わってしまったように見えるのです。その「病状」とは、抑うつ、幻覚、妄想、身体攻撃性、徘徊、不穏等で、これらは「周辺症状」と呼ばれます。これに対して、認知機能が失われていく病状を「中核症状」と呼びます。

「中核症状」に対しては、薬物治療での対応が可能な場合もありますが、全ての中核症状が完治するわけではなく、このことが、「認知症になったら絶対に良くなるな

い」と考えがちな理由です。しかし、もつつの「周辺症状」に関しては、ケアする人の接し方や、周囲の環境によって、その症状の出現に変化があります。その方が安心してコミュニケーションやスキンシップを取ったり、その方らしい活動を継続したり楽しみを持つことで、行動も感情も落ち着きます。

- ① 自尊心を傷つけない。
- ② 相手の主張を受け入れる。
- ③ 馴染みの関係が継続できるようにする。
- ④ 役割を持てるように促す。
- ⑤ 優しく愛情をもって接する。

私達「グループホームコスモス」に入居されている方は、全員が認知症の診断を受けておられます。スタッフはこれらの原則に留意しながら、日々の生活の中で、様々



もともと料理は得意なの

誕生日には、皆様でお祝いします。入居者と職員だけではなく、ご家族にも呼びかけて、一

な取り組みを行い、一緒に生活される入居者の方の周辺症状を軽減し、その方が穏やかに、その方らしく生活を送っていただけるように取り組んでいます。次に、その取り組みの様子を紹介していきます。

★グループホームの生活

手作りのおやつを楽しむこともあります。上手くできない時であっても、それを注意したり、否定することなく、今その方が出来る限りのことを受け入れ、笑顔で楽しんで頂けるようにしていきます。そうした事が、周辺症状の改善に繋がります。